

# 龍谷大学の英語

●2024(2025入試)年度は、「2教科型公募推薦入学試験」、「一般選抜入試前期日程・中期日程・後期日程」とも文系型・理系型の受験型に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。また、経済学部・法学部・政策学部の「専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入学試験」は、同一試験日の問題を使用しました。

## 1 これが傾向

例年通り、すべてマーク式で4つのパートに分かれ、35問が出題されています。今年度入試は、パートごとの配点が昨年度と同じ比率となっています。

パートⅠは800語程度の長文読解問題で、15の設問に答えるものです。空所補充問題や下線部の意味や内容を答える問題、文章の大意をとる問題など様々な形式の問題があります。

パートⅡは500語程度の長文読解問題で、5つの設問に答えるものです。段落の内容を問う問題や、文章全体の内容を問う問題

があります。

パートⅢは会話空所補充問題で、AとBの2つに分かれています。Aは4行からなる会話問題で、5題出題されます。それぞれ空所が1つありますので、そこを埋めます。Bは長めの会話を読み、その中の5つの空所を埋める形式です。

パートⅣは整序英作文の問題で、与えられた日本語の意味にあうように、8つの選択肢を並べかえて英語を完成させます。5問出題されています。

## 2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	項目(配点率)	内容
11月23日実施分 2教科型公募推薦	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全文の内容理解 小売店や飲食店が顧客の選択に影響を与えるためいかに様々な戦略を用いているかを述べた文章。戦略は棚のレイアウトや商品の陳列方法、値付け、BGMなど多岐にわたる。売り手は最大限の利益を上げようと効果的な戦略を生み出すことに注力しており、客は注意しなければそのトリックに引っかかってしまうだろう。
	II	読解(20%)	段落の内容理解 犬を飼うことのメリットを述べた文章。犬を飼うことで子供は責任感や他者への共感、またどうすればよい友人となれるかを学ぶことができる。犬を飼うことは子供に人生の重要な教訓を教え、子供が成熟した大人になる手助けとなる。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充(短い会話文のみ)
	IV	整序英作文(15%)	与えられた語句を並べ替えることによる英文完成
11月24日実施分 2教科型公募推薦	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全文の内容理解 幸福感を得て生きるために心がけることについて、心理学的な見地から述べた文章。過去や未来にこだわらず今ここに集中する、他人の幸せのために自らの強みを活かして行動する、感謝を忘れない、など、日常的な行いを利他的に行うことが、めぐりめぐって自らを含む全体の幸福を生み出すことを説いている。
	II	読解(20%)	段落の内容理解 自然環境保護についての文章。地球温暖化でホッキョクグマの生態が脅かされていることを例に、大型生物を中心として絶滅危惧種リストに記載し保護する努力を広げていくことが、小型生物も含む全体の生態系の保全につながると主張している。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充(短い会話文のみ)
	IV	整序英作文(15%)	与えられた語句を並べ替えることによる英文完成
1月29日実施分 一般選抜入試 前期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全文の内容理解 19世紀に活躍したデンマークの童話作家ハンス・クリスチャン・アンデルセン。彼の代表作『みにくいアヒルの子』、『マッチ売りの少女』、『裸の王様』、『ナイチンゲール』を通して、アンデルセンの生涯について述べている。
	II	読解(20%)	段落の内容理解 ある日本人のアメリカでの経験をもとに、お金の貸し借りや貸金交渉の場面における日米間の文化差について述べている文章。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充(短い会話文のみ)
	IV	整序英作文(15%)	与えられた語句を並べ替えることによる英文完成
1月30日実施分 一般選抜入試 前期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全文の内容理解 英語は世界中に広まった結果、各地で様々な変種を生み出した。これらの変種は標準的な英語とは異なると思われがちであるが、標準語か変種かにかかわらず、状況や用途によって自ずと話す英語は変わってくる。そのような英語も一つの変種と捉えることで、国際社会において英語が果たす役割を理解できるだろう。
	II	読解(20%)	段落の内容理解 本来人との繋がりを築くためのソーシャルメディアの使用が、特に若い世代において孤独感をもたらしている。良い部分が誇張された記事や画像などが投稿される傾向にあるため、見る側は常に自分と比較してしまうからだ。ソーシャルメディアは対面の人間関係を置き換えるのではなく、高めるために使うべきだ。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充(短い会話文のみ)
	IV	整序英作文(15%)	与えられた語句を並べ替えることによる英文完成

試験日・日程	問題番号	項目(配点率)	内容
1月31日実施分 一般選抜入試 前期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解 デーブル・カーネギーは、他者への関心、失敗からの学び、挑戦、熱意を通じて成功と幸福を築く方法を説いた自己啓発書を著した。彼の著書には、今に通じる、人間関係をよくする具体的なアドバイスが豊富に詰まっている。
	II	読解(20%)	段落の内容理解 地球温暖化は深刻な問題だが、技術と知識の活用により影響を抑えられる。具体策として、太陽光などの再生可能エネルギーの活用、二酸化炭素の回収・貯蔵技術、環境にやさしい農業の導入などが挙げられる。科学技術の発展と人々の意識改革によって、持続可能な未来を実現できる。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充(短い会話文のみ)
	IV	整序英作文(15%)	与えられた語句を並べ替えることによる英文完成
2月14日実施分 一般選抜入試 中期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解 コミュニケーションの形は文化や国によって様々である。西洋からインドへとやってきた著者は、昼食のためのレストランへの道順をめぐり現地ホテルスタッフとの間に発生したミスコミュニケーションから、それを痛感することとなる。インドでの経験は、良き話し手だけでなく良き聞き手となることの重要性を著者に気づかせた。
	II	読解(20%)	段落の内容理解 洋の東西を問わず、人類は何千年も前から植物を医療目的で使用してきた。そのような薬草には様々な効能が期待できる。また薬草園を作ることは、身体および精神に良い影響を与え、人間の健康と幸福を促進するものである。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充(短い会話文のみ)
	IV	整序英作文(15%)	与えられた語句を並べ替えることによる英文完成
2月15日実施分 一般選抜入試 中期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解 アメリカの超高層ビル建設に関する歴史の変遷について述べた文章。石造りや木造から鉄・金属の建築へと、高度な耐火性を有する建築物へと変遷した。また、地勢的制約から高層化へと進展した地域もある。超高層ビルは、過去の災禍にもかかわらず現代文明のシンボルとして存続し続けている。
	II	読解(20%)	段落の内容理解 現代では、自然の暗闇が失われ、人工的な「光の公害」が発生している。夜光虫を介した受粉が失われるのもその一例である。この問題については、環境問題の一環としてリスクコミュニケーションの議論を深めるべきであろう。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充(短い会話文のみ)
	IV	整序英作文(15%)	与えられた語句を並べ替えることによる英文完成
3月10日実施分 一般選抜入試 後期日程	I	読解(45%)	空所補充、語句や文の意味、段落や全体の内容理解 人類や自然界に貢献をもたらした科学に関して述べている文章。科学は社会的な活動であり、様々な人々・科学者が協力して発展していくものである。ただ、科学に懐疑的な姿勢を見せる人もいる。
	II	読解(20%)	段落の内容理解 大量消費を避け、Buy Nothing という活動を行えば、環境問題なども解決できると述べている文章。
	III	対話文(20%)	日常会話の空所補充(短い会話文のみ)
	IV	整序英作文(15%)	与えられた語句を並べ替えることによる英文完成

### 3 出題の意図と対策

IとIIの長文読解問題では、語彙・文法に関する知識、読解力など総合的な英語力が要求されます。語彙は基本的に高校の学習範囲内のものが使用されていますので、まずは学習範囲の語彙を用例とともに確実に身につけてください。また、学習範囲を超える語彙が出てくる場合も、前後の流れから意味の推測可能となるよう工夫されています。英文を読んでいて知らない語彙が出て来たときは、辞書で調べる前に、その意味を推測するよう習慣づけておきましょう。外国語として英語を読む場合、文法はとても重要です。基本的な文法事項は、具体的な文例を通して正確に理解しておきましょう。出題される英文の内容は言語、環境、心理、教育、歴史、科学技術などさまざまです。普段からインターネットや書籍などを通じ、多様な分野の英語に触れておきましょう。

IIIの会話空所補充問題では、会話の流れをつかむ能力と口語表

現の知識などが要求されます。使われる英語は平易ですが、会話がどのような場面で、何について、どのような態度でなされているか、すばやく正確に読み取るのは大変です。さまざまなメディアを通じて、たくさんのダイアログに接し、脈絡をたどり、会話の先を予測する能力を身につけておきましょう。口語表現には、文脈によって意外な意味をもつものもありますので、使われ方に注意しながら覚えていきましょう。

IVの整序英作文の問題では、英文を正しく組み立てる力が要求されますので、文法と熟語表現の知識が重要です。基本的な文法事項に関連する文例を数多く、音読や書き写しによって習得し、様々なパターンの英語に慣れておきましょう。また熟語表現も用例とともに習得し、しっかりと使えるようにしておきましょう。

# 龍谷大学の国語

●2024(2025入試)年度は、「2教科型公募推薦入学試験」、「一般選抜入試前期日程・中期日程・後期日程」とも文系型・理系型の受験型に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。ただし、理系型では農学部の出願者のみが選択解答できました。また、経営学部・短期大学部こども教育学科の「専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入学試験」は、同一試験日の問題を古文を除いて使用しました。

## 1 これが傾向

2024(2025入試)年度の国語の問題は、例年と同じく、各試験日とも、

- (一)〔二〕現代文
- (三)古文

という構成になっています。設問数は漢字問題4問を含め、合計28問です。解答方法は全問マーク式で、それぞれ4つの選択肢の中から正答を1つ選びます。

(一)〔二〕の現代文の問題では、日本文化、言語、身体、宗教、科学、教育、文学など、さまざまなテーマにかんする文章を幅広く取り上げています。いずれも、「入試という枠組みを超えて、自分たちをとりまく現代の問題について、深く読み考えるきっかけにしてほしい」という願いを込めて、素材文を選択しています。

設問は、語句の意味、指示語の内容、あるいは接続語や語句の

補充といった基本的なものから、筆者の考えや文章全体の趣旨・主題を問うものまであり、多角的に思考力を測れるように工夫しています。

(三)の古文の問題も、さまざまなジャンルや時代の作品を取り上げており、読解の助けになるように、必要に応じて注もつけています。設問としては、古語の意味や文の解釈・現代語訳、文法的事項、文学史の知識のほか、作中人物の心情や文章の趣旨などを問うものがあります。いずれもオーソドックスなものですから、基礎的な学力を身につけて、内容を正しく把握できるように練習しておけば、解答可能なレベルだと言えます。

現代文・古文ともに、文章の一字一句を丁寧に読み、文意を正確に捉えることがもっとも大事なポイントです。

## 2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	配点率	種類	出典	内容
11月23日実施分 2教科型公募推薦	(一)	(40%)	現代文 評論	四方田犬彦 『サレ・エ・ペベ 塩と胡椒』	「日本料理」とは外部からの視線によって成り立つ虚構の概念である。筆者にとって実在するのは、子どもの頃から親しんできたもっとローカルな料理だ。しかし、そうした料理は「日本料理」という大きなイデオロギーに吸収されて消えつつある。 ----- 漢字の知識、内容理解、空所補充、趣旨把握
	(二)	(30%)	現代文 随筆	今野真二 『日本語と漢字—正書法がないことばの歴史』	『万葉集』においては漢字によって日本語を文字化している。具体的な日本語にもどすことはできなくても内容はわかるのは、漢字が表語文字だからである。日本語を表記する際に「すれ」が生じることがあるが、仮名はその「すれ」を調整するために生まれた。 ----- ◇箇所説明、内容理解、空所補充、趣旨把握
	(三)	(30%)	古文	『古本説話集』	昔、田舎の金持ちの娘がいた。両親が亡くなり、観音様への信仰だけが彼女の支えであった。ある時、不思議な夢を見て、まもなく頼りになりそうな男性から求婚された。そして、あれこれと尽くしてくれる侍女も現れた。その侍女は観音の化身であった。 ----- 指示部解釈、作中人物の把握、文法、内容理解、文学史
11月24日実施分 2教科型公募推薦	(一)	(40%)	現代文 評論	武田信明 『個室』と『まなざし』	B・アンダーソンのいう「想像の共同体」としての「日本」は、全国に敷設されていく鉄道の線路や、各地を短時間で結んで空間を「抹殺」(W・シヴェルプシュ)する鉄道の速度によって、明治期の人々に漸進的に定着していった。 ----- 内容理解、箇所説明、空所補充、主旨説明
	(二)	(30%)	現代文 随筆	古田徹也 『謝罪論』	事件や事故の被害者が自発的に心から加害者を赦し、怒りや憎しみから解放されることは容易なことではない。その一方で、正義の感覚に基づいて公共的なレベルで行われる刑罰(処罰)は、報復の連鎖を断ち切る可能性がある。 ----- 空所補充、内容理解、主旨把握
	(三)	(30%)	古文	『うつほ物語』	異国の地で琴の秘技を習得した父(清原俊蔭)は、日本に戻り娘に琴を教えた。娘は父に勝る技術を身につけた。父は亡くなる時に娘に屋敷の隅に埋めてある2つの琴の話を話す。父が亡くなると家は壊され荘園からの物資もなくなり、娘は困窮した。 ----- 内容理解、文法、指示部解釈、文学史
1月29日実施分 一般選抜入試 前期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	吉見俊哉 『博覧会の政治学 まなざしの近代』	ロンドン万博の会場となった水晶宮には時代の先端を担う産業機械が展示され脚光を浴びた。同時に、多様な商品の氾濫する水晶宮は使用価値を超えた世界の姿を人々に呈示し、見物人が比較、選別の対象として展示品を眺める視覚の特権的な場でもあった。 ----- 漢字の知識、空所補充、内容理解、趣旨把握
	(二)	(30%)	現代文 随筆	石井美保 『めぐりながれるもの の人類学』	これまでの人類学は、自分たちとは異なる社会の習慣や信仰をいかに理解するかを議論してきたが、個人の身体感覚に基づくアクチュアリティを通して、基礎的な現実世界を捉え直す必要があることを、筆者自身の経験に基づいて考察した文章。 ----- 内容理解、空所補充、主旨把握
	(三)	(30%)	古文	『浜松中納言物語』	二位の中納言は河陽殿の後に再び会いたいと思い、菩提寺に参詣したところ、夢の中に僧が現れ、その願いが叶うと言った。その頃、后は陰陽師の言葉に従い密かに山陰という所に移った。二位の中納言は偶然山陰に行き、そこで后と出会うこととなった。 ----- 和歌解釈、内容理解、主語の判定、文法、文学史
1月30日実施分 一般選抜入試 前期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	岡野八代 『ケアの倫理——フェミニズムの政治思想』	筆者は本文で、主にアメリカのフェミニストであるフェデリーチの考察に基づき、一六世紀以降の西洋社会で苛烈になる女性差別・女性弾圧の歴史を論じている。それは女性を家庭内に封じこめ、さらに労働や再生産に関する主体性を剥奪する歴史である。 ----- 漢字の知識、空所補充、内容理解、主旨把握
	(二)	(30%)	現代文 随筆	村上靖彦 『客観性の落とし穴』	個人が持つ経験の時空間は、科学が分析の対象とするような、客観的の狭がりを持つ時空間とは違っている。著者はその違いを「偶然との遭遇」という切り口から考察する。また偶然に自己の生の固有性が見られるという視点を提示している。 ----- 内容理解、空所補充、主旨把握、語句解釈
	(三)	(30%)	古文	紫式部 『源氏物語』	光君(光源氏)は須磨で不自由な暮らしを送っている。明石の入道は光君と娘(のちの明石の上)を結婚させようとする。娘は自分の将来についてやや悲観している。光君が都にいたころを懐かしんでいると、友人の三位中将が訪れ、再会を喜び。 ----- 文法、現代語訳、内容理解、語句解釈、空所補充、文学史

試験日・日程	問題番号	配点率	種類	出典	内容
1月31日実施分 一般選抜入試 前期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	中村雄二郎 『感性の覚醒 近代情 念論の再検討を通じ て』	感情は不確かで曖昧なものと思われているが実は秩序とまとまりがあり、個人的であるよりもむしろ集団的なものである。感情を理解するには、個人と集団の両面からの考察が必要であり、共同感情は共同社会(国家)の持続性や文化形成に重要な役割を果たす。 ◇漢字の知識、箇所説明、内容理解、空所補充、主旨把握
	(二)	(30%)	現代文 随筆	多田智満子 『世界の鏡』	ルネサンス期、絵画は世界の外観をリアルに正確に捉えようとする「世界の鏡」であったが、画面の中に凸面鏡が持ちこまれるに至って画面における空間再構成の快楽が画家たちにもたらされ、画を「見る者」と「見えるもの」との関係にも変化が生じた。 内容理解、空所補充、箇所説明、主旨把握
	(三)	(30%)	古文	後深草院二条 『とはすがたり』	旅先の鎌倉の風景は、作者にとって魅力的なものではなかった。小町殿という縁の女性と手紙のやりとりをするようになったが、病気で寝込んでしまった。鶴岡八幡宮の放生会に出かけてみたが、將軍一行のあり様が卑しげに見えるだけだった。 文法、語句解釈、指示部解釈、内容理解、文学史
2月14日実施分 一般選抜入試 中期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	阿部公彦 『事務に踊る人々』	現代社会では、事務的な枠組みが支配的である。事務処理的な手続きへの共通した配慮や注意が、人々を結びつける。しかし他方でそれは、「こちらあみ子」の主人公が物語るように、そうした「注意の規範」を理解できない者たちの排除を促しかねない。 漢字の知識、空所補充、内容理解、主旨把握
	(二)	(30%)	現代文 随筆	まど・みちお 『遠近法の詩』	筆者は幼年の頃に、薬品箱に描かれた鍾馗が薬品箱を持っているのを見て、無限に列なる遠近法に衝撃を受けた。こうした「遠近法の詩」に痺れるような感覚こそが、人類の歴史の中で蓄積され、芸術活動の源となったと、筆者は考えている。 内容理解、空所補充、主旨把握、語句解釈
	(三)	(30%)	古文	慈円 『愚管抄』	藤原頼長は、怒りっぽく万事に極端な人物であった。しかし父の殿は、頼長の冗法性寺殿の反対にもかかわらず、彼を内覧の地位に就けた。また頼長は、ほかの貴族に乱暴を働か、世の人々は彼に「悪左府」というあだ名をつけた。 主語の判別、文法、指示部解釈、内容理解、文学史
2月15日実施分 一般選抜入試 中期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	住吉雅美 『ルールはそもそも なんのためにあるのか』	刑罰は犯罪の被害者が自ら行う復讐ではなく、公権に基づく裁判官の裁きによって行われる。復讐は個人的な恨みに基づくため、それを行うと新たな復讐を引き起こしうる。刑罰は、その復讐の連鎖をくい止めるという役割を果たしている。 漢字の知識、空所補充、内容理解、指示部解釈
	(二)	(30%)	現代文 随筆	高島玲 『ゆるい含意で、がん がん拡大——身を委ね てはいけない諸々につ いて』	「愛」や「文化」などの概念は、漠然とした心地よさを持つがゆえに社会で幅を利かせ、個人が持つ気持や営みの差異を曖昧にしてしまう。それはやがて、批判も自浄能力もない、個人をただ静かに抑圧するぼやけた人混みを生み出すことになるだろう。 内容理解、箇所説明、空所補充、主旨把握
	(三)	(30%)	古文	『栄花物語』	寛弘7年(1010)、藤原伊周は37歳になっていたが、重病の床にあった。妻、息子、娘2人の行く末を案じるのを弟の隆家(中納言)は慰める。伊周が失意の中このような死を迎えることになったのは、自らの運命だと諦めたからだろうか。 文法、現代語訳、語句解釈、内容理解、空所補充、文学史
3月10日実施分 一般選抜入試 後期日程	(一)	(40%)	現代文 評論	Jean Lin 『帰属の美学——板前 の国籍は寿司の味を変 えるか』	真正性は、近現代においてとりわけ価値があるものとして認識されている。しかし、文化的な力テコリに即して真正性が主張された場合、様々な問題が懸念される。例えば、料理に真正性を見出す行為は、料理という文化の発展を妨げかねないのである。 漢字の知識、内容理解、空所補充、主旨把握
	(二)	(30%)	現代文 小説	関口尚 『芭蕉はがまんできな い おくのほそ道随 行記』	己の理想とする俳諧を追求しようと奥州への旅に出た芭蕉を、その弟子であり旅の随行者でもある「わたし」(河合曾良)の視点から描く。旅の中で起こった出来事をきっかけに、「わたし」は「蛙飛びこむ」の句の解釈を通して俳諧と自分自身とを見つめ直す。 語句解釈、空所補充、内容理解
	(三)	(30%)	古文	『六代勝事記』	承久の乱で敗れた後鳥羽院は、鳥羽殿で出家した後、隠岐国に流される。その道中では、母のことを思い出して悲しむ。佐渡国に流された順徳院は、都を恋しがり、道中とともにした男たちが故郷に帰るのを召し寄せ、涙を流す。 指示部解釈、空所補充、文法、内容理解、文学史

### 3 出題の意図と対策

現代文、古文ともに標準的なレベルの問題ですから、まずはふだんの授業を大切に、反復練習によって国語の“力”を確実に身につけておくことが大切です。

そもそも、国語の“力”には、①基本的な読み書き能力(リテラシー)、②論理的な思考力と表現力、という2つの側面があるのではないのでしょうか。①は、たとえば漢字の知識や言葉の意味を把握した上で、文章を正確に読み取ったり適切に書いたりできる力のことです。文法や修辞技法、文の組み立て方なども含めて、日本語表現を構成する基本的な事項をどれほど知っており理解しているか、そしてどれくらい正しく使えるか、ということです。一方②は、ある文章について、それが表現しようとしている感情なり思想・主張などを成り立たせている枠組みや文脈を理解する力であり、それらをふまえて論理的に文章を書く力だと言えるでしょう。入試問題では、こうした“力”が問われるのです。

〔一〕〔二〕の現代文は、かなりの分量の文章をかざられた時間で読み解かねばなりませんから、構成や趣旨・主題をすばやく的確に把握する訓練が欠かせません。そのためにも、日頃からさまざまな文章に触れ、読解することが必要です。多読と速読を繰り返しながら、文章全体の大まかな流れやテーマを上手につかめるようにしておけば、内容理解や文の挿入位置など多くの設問に対応できるはずです。

空所補充や語句解釈などの問題も例年出されていますが、文脈のなかに適切な語句を埋めたり、文脈におけるある語句の意味するところを確定したりするためには、さらに一つひとつの言葉が持つ微妙なニュアンスの違いに注意しなければなりません。ここ

でもやはり、ふだんからいろいろな文章を読んでおくことが大きな支えとなるはず。ただし、これらの問題で求められているのは精読です。個々の表現に立ち止まり、一つひとつの言葉の意味を吟味し、まめに辞書を引いて確認しながらゆっくりと読み込むことです。そのようにして、語彙や慣用語、漢字の知識をひろげ、深めていくよう心がけてください。なお、〔一〕の問一は漢字の知識を問う問題ですが、原則として常用漢字の枠をはずれることなく、文脈のなかで漢字の意味が正確に把握できているかどうか重点をおいた設問になっています。問われているのは、あくまでも国語の基本的な“力”なのです。

〔三〕の古文も同様です。基本語彙(重要古語)と古典文法の基礎を正確に理解し、敬語などを手がかりに文の主語・述語関係を見誤らずに読むことができれば、難解な問題文でも設問でもありません。とはいえ、古語や文法を丸暗記することが有効な対策とは言えません。むしろ、具体的に古文を読むなかで、辞書で調べ確認しながらそうした知識・学力を修得するほうが、結果的に応用力もつき、入試問題にも対応できるのではないのでしょうか。その意味で、要点は現代文と変わらないはず。ちなみに、古典文法と古典文学史について必ず最低1問ずつ出されていますが、現代文でも文法や文学史を問うことがあります。国語便覧などを参考に、基本事項を復習しておきましょう。

入試対策に王道なし。急がば回れ。成功への近道があるとすれば、それは何よりも地道に基礎学力を積み上げること、言葉への自覚的態度と知的好奇心とを養うことにちがひありません。

# 龍谷大学の日本史

●2024(2025入試)年度の文系型では「一般選抜入試前期日程・中期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

## 1 これが傾向

2025年度入試(2024年度実施)の日本史の出題傾向、方式は従来と大きく変わったところはありません。問題の構成は大問が3つで、おおよそ、Ⅰは原始・古代・中世、Ⅱは近世、Ⅲは近代・現代でした。また、数は少ないですが、大問の境界にとらわれることなく、関連事項が問われることもあります。

歴史学においては、開国から廃藩置県までを近世・近代の移行期と位置づけることが多く、このため、本学入試問題の日本史においては、開国から廃藩置県までの歴史過程に関しては、Ⅱ・Ⅲのどちらからも出題される可能性があります。

大問は、2つ、ないし3つにリード文が分かれることがあります。設問は全部で40問で、ⅠとⅡが各12問、Ⅲが16問です。配点はⅠとⅡが各30点、Ⅲが40点となっています。

設問は、政治・経済・外交・文化などあらゆる分野にわたり、語句選択、正誤問題、年代配列問題、語句の組み合わせ問題、リード文中の空欄補充問題などから成っています。正誤問題はほとんどが短い文章の選択肢です。

いずれの受験日とも、各時代から、おおむね分野ごとに、大問3つを組み合わせられて構成されています。また、史料問題も毎年必ず何問か出題されていますし、写真や地図を用いたものも例年多く出題されています。教科書の記述の根拠となった史料をしっかりと読むことや、歴史認識の手助けとなる地図や図表・写真、その説明文などを注意して見ておくことが必要です。

問題は、基本的に複数の出版社の日本史探究の教科書に準拠して作成されています。日頃から高等学校での学習を大切に、個別の事項を関連づけながら日本史の流れを総合的に理解しているかどうか問われますので、理解を深めるための教科書の図・表・地図・写真、それらに付された説明文や欄外の注なども見落とせません。各社の教科書記述の違いを補うために、日本史用語集などの補助教材を利用し学習することも有効でしょう。日本史の事項を暗記するだけでなく、内容について理解し、歴史の展開を把握できているかどうかを、複合的に問う傾向にあります。

## 2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	配点	内容
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	30点	院政と武士の政治進出(含図版)
	Ⅱ	30点	近世初期の政治と海外対策
	Ⅲ	40点	文明開化と国民道徳(含史料)
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	30点	摂関政治と国風文化(含史料)
	Ⅱ	30点	幕藩体制の成立(含史料)
	Ⅲ	40点	政党政治の展開(含史料)
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	30点	平城京の時代と律令体制
	Ⅱ	30点	江戸時代後期の「内憂外患」(含図版)
	Ⅲ	40点	江戸幕府・明治政府の政策と民衆(含史料)
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	Ⅰ	30点	室町幕府の外交
	Ⅱ	30点	商品経済の発展と三都(含史料)
	Ⅲ	40点	1930年代後半～1945年までの外交(含史料・地図)
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	Ⅰ	30点	ヤマト政権の外交と内政改革(含史料)
	Ⅱ	30点	江戸時代における異国・異民族との交流(含史料)
	Ⅲ	40点	占領期～高度成長期の社会変化(含地図)

## 3 これが対策

歴史は、政治・経済・文化などが個別に存在しているわけではなく、いろいろなことが互いに作用し関わり合って展開しているものです。そのことに注意して教科書を繰り返し読むと、歴史において部分と全体とが緊密な関係をもって、時間的空間的に連続していることが見えてきます。単純に年代やできごと・人物名を記憶するのではなく、それぞれの有機的なつながりや意味を考えながら理解を深めるようにしてください。

例えば、昨年度の問題では、関連する出来事を古い順から並べ替えるものが6問あり、歴史の流れを把握していることが求められています。そのほか、ある出来事の前年に起きたことや、それと同年の出来事を問うものも毎年のように出されており、逆に、年代自体をシンプルに問う問題はほとんど出されていません。2025年度入試では、近世の織屋を描いた絵図に関する説明文を完成させる問題が出題されました。2024年度入試では、幕末、アメリカのビッドルが来航した場所について、地図上で問う問題が出題されました。2023年度入試では、写真に示した複数の土器から、縄文土器ではないものを問う問題が出題されました。これらは、

文字情報だけでなく、もののかたちや位置といった、文字以外の視覚的な情報も知っていなければ正解を導くことができない応用問題です。これらの問題に対応するには、用語を単に丸暗記するのではなく、それ自体に込められた意味について深く考えることが必要となります。

このように、単なる丸暗記では対応できない問題が多く出されてきたことからすれば、まずはそれぞれの時代を大づかみすることからはじめて、歴史的な因果関係に留意して、より深く個別の事象を見るようにすることが大切です。また、史料は歴史叙述の証拠として重要ですから、特に教科書に記載されているものは必ず目を通して、そこから何がわかるのか、よく考えておいて下さい。

くどくなりますが、自分なりの問題意識をもって教科書を読むと歴史への関心は高まり、繰り返し読めば用語も次第に覚えることになるでしょう。そして、頻度の高い事柄は必ずと記憶することになりますから、できるだけたくさん問題を解いてみることで、本学の過去問題に慣れておくことは言うまでもありません。

# 龍谷大学の世界史

●2024(2025入試)年度の文系型では、「一般選抜入試前期日程・中期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

## 1 これが傾向

龍谷大学の世界史の入試問題は、受験生の皆さんの基礎学力を知るために作られています。マークセンス方式で、それぞれの事項の教科書における頻度数を踏まえて出題していますので、難問はほとんどありません。

設問は三つの大問によって構成されており、それぞれの大問は、特定の地域や時代からの出題もありますが、一定のテーマに沿って、あるいはある国や地域を、通史的に出題する設問も多く見られます。前者の場合でも、その中で、他の地域や時代の基本的な知識を問うこともあります。

大きな傾向としては、本学の建学の精神との関係もありますので、仏教に関する設問が比較的多いのは特徴の一つでしょう。ただし、一般入試は五日間ありますので、すべての日に仏教に関する設問があるわけではありません。しかし、仏教の歴史がよく出てくるということで、受験生の皆さんが、特に熱心に勉強してくれるれば龍谷大学としても幸いです。また、仏教に限らず、その

他の宗教や思想・文化などの出題もありますので、それらの知識が入学後も役に立つことは言うまでもありません。

ここ数年の過去問を見ても、きわめて幅広い地域からの出題となっており、現在、世界の人々にとっても関心の高いイスラーム世界からの出題も頻度が高いと言えます。全体から見れば、中東・東南アジアなどが、かつて世界史では、最も出題の多かった中国や西欧の二地域とほぼ拮抗して出題されているのも最近の傾向です。

龍谷大学の世界史は、教科書を片寄ることなく読み、歴史の流れを総合的に理解していれば、比較的容易に正答にたどりつくことができるような設問になっています。また、歴史は、重要な出来事を立体的・視覚的に捉えることも重要であり、そうすることによって理解も深まると言えます。そのような考えから、地図や写真、図版なども毎年出題されるので、注意しておく必要があります。

## 2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	配点	内容
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	I	33点	イスラームの成立と発展の歴史
	II	33点	ヨーロッパ近世史
	III	34点	朝鮮近現代史
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	I	33点	古代ギリシア・ローマ・オリエント史
	II	33点	キタイ(契丹)と北宋時代の歴史
	III	34点	ドイツ・イタリアを中心としたヨーロッパ近現代史
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	I	33点	インド・東南アジア古代史
	II	33点	ヨーロッパ近世史と大航海時代
	III	34点	中国・台湾近現代史
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	I	33点	ヨーロッパ中世史
	II	33点	晋から南北朝・隋・唐までの歴史
	III	34点	南米近現代史
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	I	33点	中国文明から殷・周・春秋戦国時代までの中国古代史
	II	33点	14世紀から20世紀初めまでの東南アジア史
	III	34点	欧米近現代史

## 3 これが対策

教科書をよく読むことはもちろんですが、歴史年表や歴史地図も活用して、総合的に理解することが龍谷大学の世界史入試の対策には大事です。教科書に載っているような歴史的な出来事は、どれも、事件が生じた地域だけでなく、その周辺の地域や、場合によっては、はるか遠い地域にまで波及し、時期的にも数十年、さらには何世紀も後の人々の政治や生活に影響を与えることがあります。こうした関連性や影響を理解するためには、歴史年表と歴史地図の活用は欠かせません。一番の対策は、歴史に関心を持つこと、歴史のおもしろさを知ることです。そのためにも、年表や地図・写真・図版などを見て、あれこれ想像力をふくらませてみましょう。

傾向の所でも述べましたが、龍谷大学の世界史には地図がよく使われます。これは、受験生の皆さんに歴史の流れや地域相互の横の関係を考えてもらいたいからです。現代は、情報化社会、グローバル化の時代などとよく言われますが、人・モノ・情報の移動・交流・流通は、歴史的に見れば特に新しいことではなく、はるか古代から、それぞれの時代や地域に応じて行なわれていたことなのです。写真や図版が多く出るのも、そのようなことを踏まえて設問を作成しているからです。ぜひ、教科書に載っている写

真・図版・地図には、目を配っておいてください。

龍谷大学の世界史では、事件の起こった細かな年代を問う設問はほとんどありません。王朝が交代した年や革命が起こった年など、大きな歴史的イベントの年代を覚えておくことは、世界史の学習には有益なことで、年代の暗記にこだわるのはあまりよくありません。それよりも、大きな歴史の流れの理解に時間を割くよう心がけるべきでしょう。事件の起こった順番を問う問題も時々ありますが、すべての出来事の順番を正確に覚えていなくても、重要な事件の前後関係とその流れを理解していれば、正解にたどりつくように出題されています。大きな歴史的イベントの前後の流れや各地域の関連をつかむ努力をしておけば、高得点が期待できます。現代史に関して言えば、新聞やテレビで、海外のニュースに日ごろから関心を持っておくことも大切です。

問題文はかなり長いものもありますが、文章を読み解く能力は国語に限らず、すべての教科に必要な基礎学力です。過去問を解いてみる際に、あるいは受験当日でも、ただ単に設問に答えるだけでなく、問題文をよく読み、出題者がどのようなことを意図し、何を問うているのかを理解するように心がけてみてください。それが勘違いやケアレスミスを防ぐ一番の対策にもなります。

# 龍谷大学の政治・経済

●2024(2025入試)年度の文系型では、「一般選抜入試前期日程」において学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

## 1 これが傾向

出題方式は、各問ともいくつかの選択肢の中から、適当なものまたは不適当なものを1つ(場合によっては複数)選択するマークシート方式です。大きな問題は3つあり(下の出題内容の概要におけるⅠ、Ⅱ、Ⅲがそれに当たる)、さらにそれぞれの中に原則2つの問題があります。これらの問題に対し、リード(導入)文が示され、各問はこのリード文に関連して出題されます。問の数は40です。

出題は、法律・政治分野、経済分野、現代社会の諸課題から出されます。これら3つの分野に対しそれぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲが配されるのが、これまでの出題です。出題内容は、主に現代におけることからですが、現在に至る経緯として歴史的知見を問うものもあります。

事実、理念(たとえば民主主義)、その理念を実現するための仕組みを問う問題など、問題の性格は一樣ではありません。いずれにしても、教科書や高校の先生の講義から上記3分野における重要な事実、それを理解する基本的な考え方を正しく理解することが大切です。教科書によっては触れていないことから、また触れていることからでも教科書により濃淡の差があることは事実ですが、あなたがどの教科書で学んでも特に不利にならないように出題者は極力配慮しています。

基本的には、教科書の記述範囲、記述事項に基づいて出題をしていますが、現代への関心と理解の程度を調べるためなど、教科書を越えた最新の時事的な問題が過去には出題されたこともあります。

## 2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	配点	内容
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	36点	(1) 法の支配と各国の政治機構 (2) 司法権と裁判制度
	Ⅱ	36点	(1) 金融のしくみ (2) 地球環境問題
	Ⅲ	28点	(1) 情報化する社会 (2) 少子高齢化
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	36点	(1) 法の分類と社会契約説 (2) 日本における議会と行政機構
	Ⅱ	36点	(1) 市場経済と国民経済 (2) 日本経済のしくみと変化
	Ⅲ	28点	(1)(2) 国際人権問題 (3) 感染症対策と防災・減災
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	36点	(1) 憲法と基本的人権 (2) 消費者問題
	Ⅱ	36点	(1) 貿易と国際経済 (2) 外部性と公害問題
	Ⅲ	28点	(1) 日本の地域社会と農業 (2) 多様な働き方・生き方を可能にする社会

## 3 出題の意図と対策

教科書や授業などによって政治・経済に関する基本を理解することがまず大切です。この科目に限らず、学習において正しい知識を習得することは大切ですが、「なぜそうなのか」や、その問題の背景を考え、知識をテーマごとに体系化してください。本学や大学入試センターの過去の入試問題を解いた後も丁寧に考察することが必要です。とりわけあなたが解答を誤った問、解答があやふやであった問に対しては、きちんと理解しておくことが大切です。

2026年度入試の問題も「これが傾向」で述べた3つのすべての分野から出題されると思われるので、教科書全体を丁寧に学習してください。教科書の総ページ数は、日本史や世界史と比べて少ないですが、図表や脚注の重要性は高くなります。先生が授業で話

される周辺的なこと(必ずしも教科書には触れられていないこと)も教科書の内容の理解を深める意味でも意義があるので、注意して聞くようにしてください。

さらに、現代の政治・経済の理解に資するための歴史感覚を養い、この科目に関連する新聞などの報道にも関心を持ってください。

この「政治・経済」については、2026年度入試の出題方式も、2025年度のそれと同じくマークシート方式となります。3つの大きな問題から成り立つといったような出題の様式も2025年度のそれが引き継がれるものと思われます。

また、授業で教科書とともに配付される資料集もよく見ておいてください。

# 龍谷大学の数学(文系型)

●2024(2025入試)年度の文系型では、「一般選抜入試前期日程・中期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

## 1 これが傾向

どの日も3問出題され、全問が記述式です。あたえられた問題を読みとって理解する力、論理的に考える力、さらにていねいな計算、ていねいな作図など問題を正確に処理する力、また正しい答えを人がわかるように説明する表現力を、総合的に発揮してもらうためです。

数学的知識としては、したがって、教科書を理解する程度で十

分です。満点をとることも不可能ではありません。出題される問題も、教科書の基本的問題、標準的問題が中心です。

なお、以上のような趣旨から、正しい結論が書かれていたからといって満点とは限りません。逆に、正しいすじ道で解答しながら、何らかのミスのため正しい結論に到達しなくても、必ずしも零点とは限りません。

## 2 出題の意図と対策・解答内容の講評 —答案を通して—

この試験を通して何を問おうとしているか、それを知ってもらうことが、勉強の役に立つと思います。典型的な問題を選んで、気をつけてほしい点を述べます。一般的な傾向として、小問(1)、(2)、(3)を別々に解こうとする答案が目立ちます。小問は関連して解くとうまく正解にたどりつくことを忘れないでください。

III  $a$  は正の定数とし、関数  $f(x)$  を

$$f(x) = 2x^3 - 3ax^2 \quad (0 \leq x \leq 3)$$

と定義する。

(1)  $f(x)$  の最大値と最小値、およびそのときの  $x$  の値を求めなさい。

(2)  $a = \frac{5}{3}$  のとき、 $f(x) = -3$  となる  $x$  の値をすべて求めなさい。

講評

(1)  $f'(x) = 6x(x-a)$  だから増減表は次のようになる。

●  $0 < a < 3$  の場合：

$x$	0	...	$a$	...	3
$f'(x)$	0	-	0	+	+
$f(x)$	0	↘	$-a^3$	↗	$27(2-a)$

増減表より、 $x = a$  のとき最小値  $-a^3$  をとる。また、0 と  $27(2-a)$  を比べることにより、最大値およびそのときの  $x$  の値は次のようになる。

- $0 < a < 2$  の場合： $27(2-a) > 0$  より、  
最大値： $27(2-a)$  ( $x = 3$  のとき)
- $a = 2$  の場合： $27(2-a) = 0$  より、  
最大値： $0$  ( $x = 0, 3$  のとき)
- $2 < a < 3$  の場合： $27(2-a) < 0$  より、  
最大値： $0$  ( $x = 0$  のとき)

●  $3 \leq a$  の場合：

$x$	0	...	3
$f'(x)$	0	-	-
$f(x)$	0	↘	$27(2-a)$

増減表より、 $x = 0$  のとき最大値0をとり、 $x = 3$  のとき最小値  $27(2-a)$  をとる。

以上のことをまとめると、

- $0 < a < 2$  の場合：
  - 最大値： $27(2-a)$  ( $x = 3$  のとき)
  - 最小値： $-a^3$  ( $x = a$  のとき)
- $a = 2$  の場合：
  - 最大値： $0$  ( $x = 0, 3$  のとき)
  - 最小値： $-a^3 = -8$  ( $x = 2$  のとき)
- $2 < a < 3$  の場合：
  - 最大値： $0$  ( $x = 0$  のとき)

- 最小値： $-a^3$  ( $x = a$  のとき)

●  $3 \leq a$  の場合：

- 最大値： $0$  ( $x = 0$  のとき)
- 最小値： $27(2-a)$  ( $x = 3$  のとき)

(2)  $f(x) = 2x^3 - 3ax^2$  より、 $a = \frac{5}{3}$  のとき、

$$f(x) = -3 \iff 2x^3 - 5x^2 + 3 = 0$$

$g(x) = 2x^3 - 5x^2 + 3$  とおくと、 $g(1) = 0$  であるので、 $g(x)$  は  $x - 1$  で割り切れる。割り算を実行して

$$g(x) = (x - 1)(2x^2 - 3x - 3) = 0$$

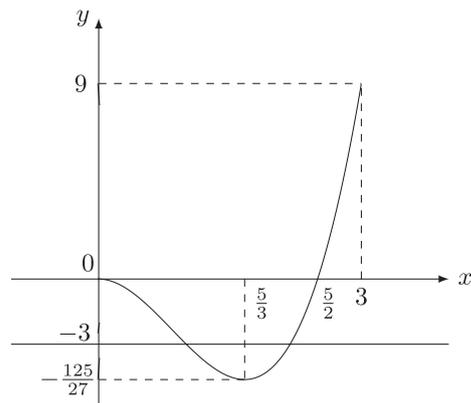
であるから

$$x = 1, \frac{3 \pm \sqrt{33}}{4}$$

$0 \leq x \leq 3$  であることより、求める答えは、

$$x = 1, \frac{3 + \sqrt{33}}{4}$$

(注意) (1) で増減表を考えるときは、 $a$  の範囲に注意しよう。また、 $y = f(x)$  のグラフと  $x = 3$  のグラフを描くことで最大値、最小値をより直感的に捉えることができる。実際にグラフを描いて最大値、最小値を求めてみよう。(2) で最終的な答えを求める際は  $x$  の範囲に注意が必要である。以下の図のように  $y = 2x^3 - 5x^2$  と  $y = -3$  のグラフを描いて、 $x$  の値が二つしかないことを確認しよう。



Ⅲ  $y = x^2 - 8|x|$  のグラフを  $C$  とし、 $C$  上の点  $P(-3, -15)$  における接線を  $l$  とする。

- (1)  $C$  を図示しなさい。
- (2) 点  $P$  以外の  $C$  と  $l$  の交点の座標をすべて求めなさい。
- (3)  $C$  と  $l$  で囲まれた図形の面積の和を求めなさい。

講評

(1) 「 $x \leq 0$ 」, 「 $x > 0$ 」の場合をそれぞれ考える。

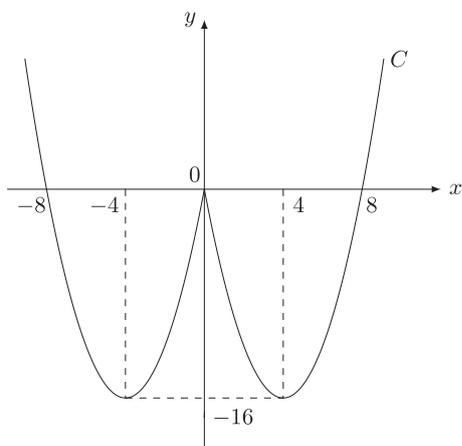
- $x \leq 0$ :  $|x| = -x$  であるため、

$$y = x^2 + 8x = x(x + 8) = (x + 4)^2 - 16$$

- $x > 0$ :  $|x| = x$  であるため、

$$y = x^2 - 8x = x(x - 8) = (x - 4)^2 - 16$$

したがって、求める曲線  $C$  は次のようになる。



(2)  $f(x) = x^2 + 8x$  とすると、 $f'(x) = 2x + 8$  であるから、点  $P(-3, -15)$  における接線  $l$  の方程式は、

$$y + 15 = f'(-3)(x + 3)$$

これを  $y$  について解いて、

$$y = 2x - 9$$

(1) より  $x > 0$  のとき、曲線  $C$  は  $y = x^2 - 8x$  のグラフであるから、

$$x^2 - 8x = 2x - 9$$

を解けば、交点の  $x$  座標

$$x = 1, 9$$

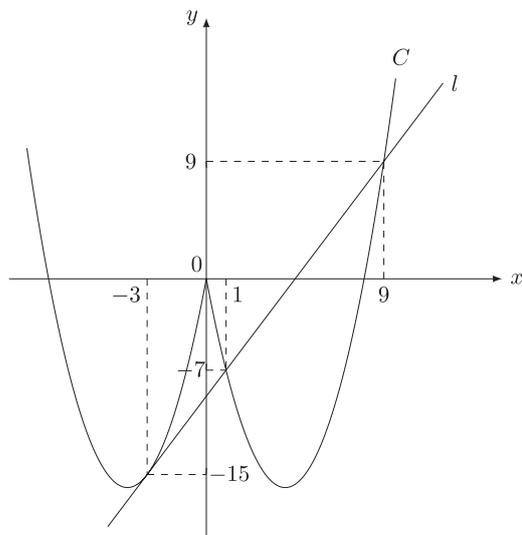
が求まる。 $y = 2x - 9$  より、

- $x = 1$  のとき、 $y = -7$
- $x = 9$  のとき、 $y = 9$

したがって、求める交点の座標は、

$$(1, -7), (9, 9)$$

(3) (2) より曲線  $C$  と直線  $l$  は次のようになる。



したがって、以下の定積分の和を求めれば良い。

$$\int_{-3}^0 \{(x^2 + 8x) - (2x - 9)\} dx + \int_0^1 \{(x^2 - 8x) - (2x - 9)\} dx + \int_1^9 \{(2x - 9) - (x^2 - 8x)\} dx$$

それぞれの定積分を計算すると、

$$\int_{-3}^0 \{(x^2 + 8x) - (2x - 9)\} dx = \left[ \frac{x^3}{3} + 3x^2 + 9x \right]_{-3}^0 = 9$$

$$\int_0^1 \{(x^2 - 8x) - (2x - 9)\} dx = \left[ \frac{x^3}{3} - 5x^2 + 9x \right]_0^1 = \frac{13}{3}$$

$$\int_1^9 \{(2x - 9) - (x^2 - 8x)\} dx = \left[ -\frac{x^3}{3} + 5x^2 - 9x \right]_1^9 = \frac{256}{3}$$

よって、求める面積の和は

$$9 + \frac{13}{3} + \frac{256}{3} = \frac{296}{3}$$

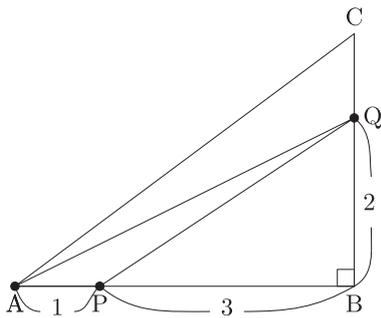
(注意) グラフを図示する場合は、絶対値記号  $|x|$  をしっかりと外せるかどうかポイントになる。苦手な人は絶対値記号について復習しておこう。

III  $\triangle ABC$  において、 $AB=4\text{cm}$ 、 $BC=3\text{cm}$ 、 $AC=5\text{cm}$  である。この三角形の辺上を動く点  $P$ 、 $Q$  がある。 $P$  は  $A$  を出発し  $AB$  上を  $B$  に向けて毎秒  $1\text{cm}$  の速さで動く。また、 $Q$  は  $B$  を出発し、 $C$  を通って  $A$  に向かい  $BC$ 、 $CA$  上を毎秒  $2\text{cm}$  の速さで動く。 $P$  と  $Q$  は同時に動き始めるとする。

- (1) 動き始めてから 1 秒後の  $\triangle APQ$  の面積を求めなさい。
- (2) 動き始めてから  $t$  秒後の  $\triangle APQ$  の面積  $S(t)$  を  $t$  の式で表しなさい。ただし、 $0 < t < 4$  とする。
- (3)  $\triangle APQ$  の面積が最も大きくなるのは、動き始めてから何秒後か求めなさい。また、そのときの面積を求めなさい。

講評

(1) 1 秒後の点  $P$ 、 $Q$  の位置は次の通りである。

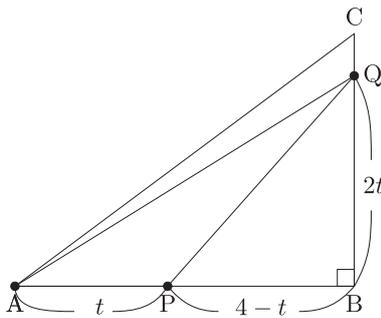


図より、 $\triangle APQ$  の面積は、

$$\frac{1}{2} \times 1 \times 2 = 1 \text{ cm}^2$$

(2) 点  $Q$  は  $0 < t \leq \frac{3}{2}$  のとき辺  $BC$  上にあり、 $\frac{3}{2} < t < 4$  のとき辺  $AC$  上にあるため、「 $0 < t \leq \frac{3}{2}$ 」、「 $\frac{3}{2} < t < 4$ 」の場合に分けて考える。

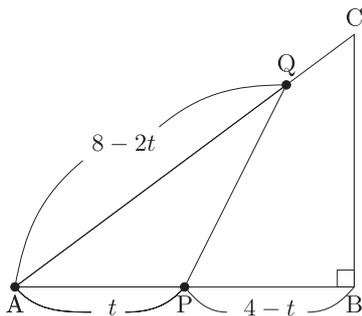
•  $0 < t \leq \frac{3}{2}$  : 点  $P$ 、 $Q$  の位置は次の通りである。



図より、

$$S(t) = \frac{1}{2} \times t \times 2t = t^2$$

•  $\frac{3}{2} < t < 4$  : 点  $P$ 、 $Q$  の位置は次の通りである



$AC=5$ 、 $BC=3$ 、 $\angle B=90^\circ$  であるから、

$$\sin \angle QAP = \sin \angle CAB = \frac{BC}{AC} = \frac{3}{5}$$

したがって、

$$S(t) = \frac{1}{2} \times t \times (8 - 2t) \times \sin \angle QAP = \frac{3}{5} t(4 - t)$$

以上より、

$$S(t) = \begin{cases} t^2 & 0 < t \leq \frac{3}{2} \text{ のとき} \\ \frac{3}{5} t(4 - t) & \frac{3}{2} < t < 4 \text{ のとき} \end{cases}$$

(3)  $0 < t \leq \frac{3}{2}$  のとき、 $S(t) = t^2$  であるため、 $t = \frac{3}{2}$  のとき  $S(t)$  は最大値  $\frac{9}{4}$  をとる。また、 $\frac{3}{2} < t < 4$  のときは、 $S(t) = \frac{3}{5} t(4 - t)$  であるため、 $t = 2$  のとき最大値  $\frac{12}{5}$  をとる。

$\frac{9}{4} < \frac{12}{5}$  より、 $\triangle APQ$  の面積が最も大きくなるのは、動き始めてから 2 秒後であり、そのときの面積は  $\frac{12}{5} \text{ cm}^2$  である。

(注意) (2) について「 $0 < t \leq \frac{3}{2}$ 」のときと「 $\frac{3}{2} < t < 4$ 」のときでは、 $S(t)$  の式が異なることに注意しよう。

前者の場合は、点  $Q$  が辺  $BC$  上にあるから、 $\angle B = 90^\circ$  に注意すれば、 $\triangle APQ$  は底辺が  $AP$  で高さが  $BQ$  の三角形であることが分かる。したがって、この場合、 $\triangle APQ$  の面積は

$$\triangle APQ \text{ の面積} = \frac{1}{2} \times AP \times BQ$$

で求まる。また後者の場合は、点  $Q$  が辺  $AC$  上にあるから

$$\triangle APQ \text{ の面積} = \frac{1}{2} \times AP \times AQ \times \sin \angle QAP$$

を使うと良い。

三角形の面積の求め方はいろいろあるので、場合に応じて使い分けよう。

# 龍谷大学の数学(理系型)

●2024(2025入試)年度の理系型では、「2教科型公募推薦入学試験」、「一般選抜入試前期日程・中期日程・後期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。ただし、先端理工学部では応用化学課程と環境科学課程の出願者のみが数学(2)を選択解答できました。また、先端理工学部の「専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入学試験」は、同一試験日の数学(2)の問題を使用しました。

## 1 出題の意図と傾向

数学(1)では、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル・平面上の曲線と複素数平面)が、数学(2)では、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質・場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)が出題範囲です。ただし、公募推薦入学試験(11月末実施)では、高等学校における授業の進捗を考慮して出題しています。龍谷大学の数学(理系型)の入試はすべて「完全な論述式」です。最終的な答えが正しくても、論述が不十分な答えは減点の対象となります(不正解とされる場合もあります)。逆に、答えを間違えたとしても、それまでの論理展開や途中の計算が正しければ部分点が与えられることがあります。「自分の考えをわかりやすく整理して正しく伝える」ように努めれば、マークシート方式や穴埋め方式の問題よりむしろ取り組みやすいと言えるでしょう。

本誌では、2025年度入試で実際に出題された問題について、解答例と注意すべきポイントを公開します。論述式答案に慣れていない受験生のみなさんは参考してみてください。

## 2 問題と解答例(コメント付き)

**問題** 数学(1)、数学(2)共通

Ⅱ 次の会話文を読み、以下の問いに答えなさい。

瀬田さん:「三角関数の公式は数が多すぎて覚えるのが大変だよ。」  
 深草さん:「でも加法定理を知っていれば多くの公式を作ることができるよ。たとえば次の加法定理

$$\sin(\alpha + \beta) = \sin\alpha \cos\beta + \cos\alpha \sin\beta \quad \textcircled{1}$$

において、 $\beta$ を $\alpha$ におき換えると

$$\sin(\alpha + \alpha) = \sin\alpha \cos\alpha + \cos\alpha \sin\alpha = 2\sin\alpha \cos\alpha$$

が得られるね。こうすると、

$$\sin 2\alpha = 2\sin\alpha \cos\alpha \quad \textcircled{2}$$

という2倍角の公式を作ることができるんだ。」  
 大宮先生:「その考え方を利用すれば3倍角の公式も導けそうですね。」  
 瀬田さん:「もしかすると $n$ 倍角の公式も導けるのかな。」

**更なる発展問題にも挑戦してみよう。**

(1) 会話文中の公式①、②、次の三角比の相互関係および加法定理

$$\sin^2\alpha + \cos^2\alpha = 1, \quad \cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta$$

を利用して3倍角の公式

$$\sin 3\alpha = 3\sin\alpha - 4\sin^3\alpha$$

が成り立つことを示しなさい。

(2)  $0 \leq \alpha < 2\pi$ とする。 $\sin 3\alpha = \sin\alpha$ を満たす $\alpha$ をすべて求めなさい。

**解答例**

Ⅱ (1) ①  $\alpha + \beta = 2\alpha$  とおくと、  
 $\sin 3\alpha = \sin(\alpha + 2\alpha) = \sin\alpha \cos 2\alpha + \cos\alpha \sin 2\alpha$  — ③  
 $\cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta$   
 $\cos 2\alpha = \cos(\alpha + \alpha) = \cos^2\alpha - \sin^2\alpha$   
 三角比の相互関係を用いると、  
 $\cos 2\alpha = 1 - 2\sin^2\alpha$  — ④

③に④を代入して、  
 $\sin 3\alpha = \sin\alpha(1 - 2\sin^2\alpha) + 2\sin\alpha \cos^2\alpha$  — 三角比の相互関係  
 $= \sin\alpha - 2\sin^3\alpha + 2\sin\alpha(1 - \sin^2\alpha)$   
 $= 3\sin\alpha - 4\sin^3\alpha$

(2) (1)より、  
 $3\sin\alpha - 4\sin^3\alpha = \sin\alpha$   
 $\sin\alpha(1 - 2\sin^2\alpha) = 0$   
 $\therefore \sin\alpha = 0, \pm \frac{1}{\sqrt{2}}$   
 $0 \leq \alpha < 2\pi$  のとき、  
 $\alpha = 0, \frac{\pi}{4}, \frac{3\pi}{4}, \pi, \frac{5\pi}{4}, \frac{7\pi}{4}$

**公式は覚えるのではなく、導出できるようになる。**

**導出した公式を活用しよう。**

**過不足がないように確認しよう。**

**問題** 数学(1)

Ⅲ  $a, b$ を定数として、関数

$$f(x) = \begin{cases} x^2 + ax + b & (x \geq 1) \\ \log x & (0 < x < 1) \end{cases}$$

を考える。

(1)  $f(x)$ が $x=1$ で連続であるための $a$ と $b$ の関係式を求めなさい。

(2)  $f(x)$ が $x=1$ で微分可能であり、導関数 $f'(x)$ が $x=1$ で連続であるとき、 $a, b$ の値を求めなさい。

(3) (2)で求めた $a, b$ に対し、 $f(x)$ の導関数 $f'(x)$ が $x=1$ で微分可能でないことを示しなさい。

**解答例**

Ⅲ (1)  $f(1) = 1 + a + b$  と  $\lim_{x \rightarrow 1-0} f(x) = \lim_{x \rightarrow 1-0} \log x = 0$  であるから、  
 $1 + a + b = 0$

(2)  $x > 1$  のとき  $f(x) = x^2 + ax + b$   
 $x < 1$  のとき  $f(x) = \frac{1}{x}$   
 $f(x)$ が $x=1$ で微分可能なら、 $f'(x)$ が $x=1$ で連続なため、  
 $\lim_{x \rightarrow 1+0} f'(x) = \lim_{x \rightarrow 1-0} f'(x)$   
 $\therefore 2 + a = 1$   
 $\therefore a = -1$   
 $f(x)$ が $x=1$ で微分可能なら、 $f'(x)$ は $x=1$ で連続したから、(1)より、  
 $b = 0$

(3)  $f'(x) = \begin{cases} 2x - 1 & (x \geq 1) \\ -\frac{1}{x^2} & (x < 1) \end{cases}$

$\lim_{x \rightarrow 1+0} \frac{f'(x) - f'(1)}{x - 1} = \lim_{x \rightarrow 1+0} \frac{2x - 1 - 1}{x - 1} = \lim_{x \rightarrow 1+0} 2 = 2$  — ①  
 $\lim_{x \rightarrow 1-0} \frac{f'(x) - f'(1)}{x - 1} = \lim_{x \rightarrow 1-0} \frac{-\frac{1}{x^2} - 1}{x - 1} = \lim_{x \rightarrow 1-0} (-\frac{1}{x}) = -1$  — ②

①②が異なるので、 $f'(x)$ は $x=1$ で微分可能でない。

**極限とその点における値との比較**

**「連続」の定義を理解しよう。**

**異なる近づき方による極限の比較**

**「微分係数」および「導関数」の定義を理解しよう。**

**注: 導関数 $f'(x)$ の連続性を問うことも、 $a, b$ は定数。ただし、導関数の定義(3)で問う対数関数の導関数の導出に戻らなければならない。**

問題 数学(2)

Ⅲ 関数  $f(x) = x^3 - (a+2)x^2 + 2ax$  を考える。ただし、 $0 < a < 2$  とする。また、曲線  $y = f(x)$  と  $x$  軸との交点の  $x$  座標を、小さい方から順に  $\alpha, \beta, \gamma$  とおく。

- (1)  $\int_0^2 f(x)dx$  を求めなさい。
- (2)  $\alpha, \beta, \gamma$  を求めなさい。
- (3) 曲線  $y = f(x)$  ( $\alpha \leq x \leq \beta$ ) と  $x$  軸で囲まれた図形の面積を  $S_1$  とし、曲線  $y = f(x)$  ( $\beta \leq x \leq \gamma$ ) と  $x$  軸で囲まれた図形の面積を  $S_2$  とする。 $S_1 = S_2$  となるような  $a$  の値を求めなさい。

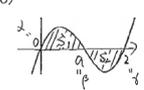
解答例

Ⅲ (1)  $\int_0^2 \{x^3 - (a+2)x^2 + 2ax\} dx$   
 $= \left[ \frac{1}{4}x^4 - \frac{1}{3}(a+2)x^3 + ax^2 \right]_0^2$   
 $= \left( 4 - \frac{8}{3}(a+2) + 4a \right) - 0$   
 $= \frac{4}{3}a - \frac{4}{3} = \frac{4}{3}(a-1)$

計算ミスがないように注意しよう。

(2)  $f(x) = x \{ x^2 - (a+2)x + 2a \}$   
 $= x(x-\alpha)(x-\gamma)$   
 上の1、 $x$  軸との交点。は  $x=0, 2, a$   
 $0 < a < 2$  であり、 $\alpha < \beta < \gamma$  なのを、  
 $\alpha=0, \beta=a, \gamma=2$

条件を見落とさないようにしよう。

(3)   $S_1 = \int_0^a -f(x) dx$   
 $S_2 = -\int_a^2 f(x) dx$   
 $S_1 = S_2$  となす、 $S_1 - S_2 = 0$  とする。  
 $S_1 - S_2 = \int_0^a f(x) dx - \left( -\int_a^2 f(x) dx \right)$   
 $= \int_0^2 f(x) dx = 0$

しっかり論述しよう。

グラフを描いて理解しよう。

計算済みのものは利用しよう。

(1)より、 $\frac{4}{3}(a-1) = 0$   
 $\therefore a = 1$

### 3 出題内容の概要

※これは2025年度入試の出題内容です。出題分野の傾向や問題数は年度により異なる可能性があります。

※問題番号Ⅰ・Ⅱは、数学(1)、数学(2)ともに共通の問題です。

試験日・日程	問題番号	配点	内容
11月23日実施分 2教科型公募推薦	Ⅰ	45	微分・積分の考え、指数関数・対数関数、数列
	Ⅱ	25	微分・積分の考え
	Ⅲ 数学(1)	30	平面上の曲線と複素数平面
	Ⅲ 数学(2)	30	図形と方程式
11月24日実施分 2教科型公募推薦	Ⅰ	45	数列、微分・積分の考え、三角関数
	Ⅱ	25	ベクトル
	Ⅲ 数学(1)	30	極限、微分法
	Ⅲ 数学(2)	30	指数関数・対数関数、二次関数
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	40	指数関数・対数関数、数と式、二次関数、ベクトル
	Ⅱ	30	数列
	Ⅲ 数学(1)	30	微分法、積分法
	Ⅲ 数学(2)	30	図形と方程式
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	40	指数関数・対数関数、数と式、三角関数、二次関数
	Ⅱ	30	ベクトル
	Ⅲ 数学(1)	30	微分法、積分法
	Ⅲ 数学(2)	30	微分・積分の考え
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	Ⅰ	40	数と式、場合の数と確率、ベクトル
	Ⅱ	30	三角関数
	Ⅲ 数学(1)	30	微分法、積分法
	Ⅲ 数学(2)	30	微分・積分の考え
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	Ⅰ	45	数と式、二次関数、場合の数と確率、数列
	Ⅱ	25	二次関数
	Ⅲ 数学(1)	30	三角関数、積分法
	Ⅲ 数学(2)	30	三角関数、微分・積分の考え
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	Ⅰ	45	数列、指数関数・対数関数、三角関数
	Ⅱ	25	場合の数と確率
	Ⅲ 数学(1)	30	積分法
	Ⅲ 数学(2)	30	微分・積分の考え
3月10日実施分 一般選抜入試後期日程	Ⅰ	40	いろいろな式、図形と計量、ベクトル、数列
	Ⅱ	30	場合の数と確率
	Ⅲ 数学(1)	30	積分法
	Ⅲ 数学(2)	30	微分・積分の考え

# 龍谷大学の物理

●2024(2025入試)年度の理系型では、「一般選抜入試前期日程・中期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。

## 1 これが傾向

物理学とは、多種多様な自然現象を少数の基本的法則から説明しようとする学問で、物理の基本的知識や手法は理工学の多くの分野を学ぶ基礎として重要です。私たちは大学での学修を進めて行くうえで必要な知識や学習態度を、皆さんがしっかり身につけているかどうかを調べるために適当な出題をするよう心がけています。つまり、教科書に載っている基本用語の意味を理解しているか、公式を納得して使えるか、問題の文章や図から状況設定を適切に読み取れるか、基本事項を正しく組み合わせて問題の意図

に沿った解答を導けるか、を調べようと考えています。

各試験日に「力と運動」、「電気と磁気」の分野から各1問ずつ、「熱と気体」と「波」の分野から1問の計3問を出題していますが、複数の分野を融合させた問題が出る場合もあります。多くの問題は、問題の解答を誘導する形で書かれた文章の途中に空所があり、そこに入る適当な数式、文章やグラフなどを選択肢から選ぶ形式になっています。複数の空所を組み合わせる問題や数値を代入して計算する問題が出る場合もあります。

## 2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	項目	配点	内容
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	I	力と運動	34	単振動
	II	電気と磁気	33	複数のコンデンサーからなる回路
	III	波	33	光ファイバーの中を伝わる光
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	I	力と運動	34	地球のまわりをまわる人工衛星の運動
	II	電気と磁気	33	磁場中に設置された回転導体円板による発電
	III	熱と気体	33	単原子分子理想気体の熱力学
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	I	力と運動	34	小球の衝突および はねかえり
	II	電気と磁気	33	抵抗とコンデンサーからなる回路
	III	波	33	気柱の共鳴
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	I	力と運動	34	定滑車と動滑車をもちいたときのおもりの運動
	II	電気と磁気	33	電極間に誘電体をいれたコンデンサーの物理
	III	波	33	定在波(定常波)
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	I	力と運動	34	斜面上の平板の運動
	II	電気と磁気	33	半導体のなかの電子の運動
	III	熱と気体	33	気体分子運動論

## 3 これが対策

基本事項を理解して正しく使いこなせれば解答できる問題なので、教科書や問題集の標準的問題を偏りなく解くことが重要です。特に、数値を代入しての計算や、複数の式を変形して解答を導出する問題の正答率が例年低いので、問題の解答を眺めるだけでなく、実際にノートに書いて計算するようにして下さい。また、基本事項でもパターンからはずれた尋ね方をすると正答率が意外に低い場合があります。難問の解法パターンを記憶するより、標準的問題を自分で納得してきっちりと解けるようにするとよいでしょう。

こちらが用意した選択肢の中から正答を選んでもらう形式なので、自分で式の計算を始める前に選択肢を一覧し、どんな記号を使った答えが要求されているかを確かめておくこと効率がよいでしょう。問題文の中に解答のヒントが含まれている場合もあります。文章を注意深く読む習慣をつけておくことよいでしょう。また、物理で出てくる記号にはすべて単位がついています。自分の得た式の単位が要求されている量の単位に一致しているかを確認すれば間違いを少なくできるでしょう。

# 龍谷大学の化学

●2024(2025入試)年度の理系型では、「2教科型公募推薦入学試験」、「一般選抜入試前期日程・中期日程・後期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。ただし、先端理工学部では応用化学課程と環境生態工学課程の出願者のみが選択解答できました(一般選抜入試後期日程を除く)。また、先端理工学部の「専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入学試験」は同一試験日の問題を使用し、応用化学課程と環境生態工学課程の出願者のみが選択解答できました。

## 1 これが傾向

化学基礎・化学の全範囲から出題されます。基礎から標準的なレベルの知識を問うことに加えて、考える力や計算する力を試す問題もあります。大問Ⅰ～Ⅲには、「化学の基礎(物質の構成・気体の法則・生活に関連した化学)」、「物質の状態(平衡・反応)及

び無機物質の化学」、「有機化合物の化学」の分野からそれぞれ出題されることが多いですが、分野をまたいだ複合問題となる場合もあります。教科書に記載されている事項を基礎にして、発展的に考える問題が出題されることもあります。

## 2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	項目	配点	内容
11月23日実施分 2教科型公募推薦入試	I	基礎化学	40	純物質と混合物、混合物の分離と精製、中和滴定
	II	無機化学および物理化学	30	ハロゲン元素、金属イオンの系統分離
	III	有機化学	30	カルボン酸、 $C_3H_6O_2$ で示される有機化合物
11月24日実施分 2教科型公募推薦入試	I	基礎化学	40	水、2-メチル-2-プロパノール、ヨウ素の三態変化
	II	無機化学および物理化学	30	弱酸の電離平衡、炭素とケイ素の単体
	III	有機化学	30	$C_3H_6O$ で示される有機化合物、カルボニル基
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	I	基礎化学	40	原子の構造、同位体、状態変化
	II	無機化学および物理化学	30	アルミニウムとスズと鉛、浸透圧と半透膜
	III	有機化学	30	アルコール、芳香族化合物
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	I	基礎化学	40	原子の構造と電子配置、周期表
	II	無機化学および物理化学	30	等温蒸留法とラウールの法則、水素吸蔵合金、亜鉛
	III	有機化学	30	アルカンとシクロアルカンとアルケン
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	I	基礎化学	40	結晶、金属の性質、単位格子
	II	無機化学および物理化学	30	アルカリ金属と熔融塩分解、化学反応速度論
	III	有機化学	30	アルキンの反応、芳香族カルボン酸
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	I	基礎化学	40	電子配置、物質の三態、単位格子、重合
	II	無機化学および物理化学	30	化学反応とエンタルピー、エタンとエチレンの化学平衡
	III	有機化学	30	鎖式炭化水素、 $C_4H_8O$ で表される化合物
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	I	基礎化学	40	海水の蒸留と塩化物の性質、周期表
	II	無機化学および物理化学	30	ニッケル・カドミウム電池
	III	有機化学	30	カルボン酸、けん化価とヨウ素価、糖類
3月10日実施分 一般選抜入試後期日程	I	基礎化学	40	物質の質量、気体、金属
	II	無機化学および物理化学	30	化学反応の速さ、平衡
	III	有機化学	30	アルカン、 $(C_6H_{10}O_5)_n$ で示される有機化合物

## 3 出題の意図と対策

教科書に記載されている基本事項を十分に理解することが大切です。基本的な物質・化合物の名称、化学式・構造式や性質については、しっかり覚えることが必要になります。さらに、重要な化学反応についても、よく理解することが大切です。また、実験方法やそれに用いる器具などについても理解しておいて下さい。

計算問題にも、きちんと取り組めるようになって欲しいと思います。また、油脂、糖、アミノ酸、タンパク質などの天然有機化合物は重要です。もし、高校の授業進度が遅い場合は、教科書を先取りして意欲的に勉強してください。

# 龍谷大学の生物

●2024(2025入試)年度の理系型では、「2教科型公募推薦入学試験」、「一般選抜入試前期日程・中期日程・後期日程」とも学部に関係なく、試験日ごとに同一の問題を使用しました。ただし、先端理工学部では環境生態工学課程の出願者のみが選択解答できました。

## 1 これが傾向

生物に関する幅広い基礎知識を問う出題となっています。農学に強く関係する「植物中心の生物学」や環境科学に強く関係する「生態学」に偏った知識ではなく、遺伝学、動物学、分類・進化学など、多岐にわたる基本知識を有していることを期待しています。教科書で表現すれば、「生物基礎」と「生物」の両方にわたって、幅広い分野から出題する傾向があります。

教科書に記載のある重要な言葉とその意味といった基本事項を多く出題しますが、一部その事の発見経緯や重要実験なども出題

されます。したがって、教科書の本文だけではなく、コラムや参考事項に一通り目を通し、理解していることが望まれます。応用力や考察力を評価するために、計算問題や考察問題、グラフ・表を読み解く問題なども取り入れています。応用力を問うているように感じるかもしれませんが、あくまで「基本重視」の上で、基本の考えについての知識と理解があれば解けるように配慮しています。

解答形式は、マークシート方式となります。

## 2 出題内容の概要

試験日・日程	問題番号	項目	配点	内容
11月23日実施分 2教科型公募推薦入試	1	生態系での物質循環	25	生態系における窒素循環について、物質と生物の関係に関する知識問題
	2	DNAの構造と複製	25	DNAの複製に関する知識問題と、PCRによるDNA増幅や制限酵素による解析方法などDNAの分析方法の原理についての知識問題と思考問題
	3	植物の発生	25	植物の配偶子形成と花器官の分化に関する知識問題
	4	バイオームとその分布	25	世界と日本における気候とバイオームの関係に関する基本的な理解を問う問題
11月24日実施分 2教科型公募推薦入試	1	代謝とエネルギー	25	呼吸や発酵によるATP生産に関する知識問題
	2	遺伝情報の発現	25	大腸菌における転写制御に関する基礎的な知識と、転写制御機構に変異が生じた際の大腸菌実験に関する理解を問う問題
	3	動物の刺激の受容と反応	25	神経細胞における刺激の受容と膜電位変化についての知識問題
	4	生物の進化と系統	25	生物の進化のしくみについての知識問題と、具体例についての理解を問う問題
1月29日実施分 一般選抜入試前期日程	1	生体物質と細胞	25	生体を構成する成分や細胞小器官について、生理機能に関する知識問題
	2	遺伝情報の発現	25	DNAからの遺伝情報の発現に関する知識問題
	3	動物の刺激の受容と反応	25	動物の血流と神経系について、基礎知識と実験や図などを合わせた理解を問う問題
	4	個体群と生物群集	25	生態系における個体群、種間の相互作用に関わる知識と理解を問う問題
1月30日実施分 一般選抜入試前期日程	1	代謝とエネルギー	25	代謝に関する基本的知識と種子発芽の際の酸素消費に関する実験に関する計算問題
	2	動物の発生	25	動物の発生と胚形成について基本的な知識を問う問題と細胞分化と誘導に関する実験に関する考察問題
	3	植物の環境応答	25	植物の環境応答とホルモンの関係に関する知識問題
	4	個体群と生物群集	25	種間相互作用に関するの一般的知識および具体例を問う問題
1月31日実施分 一般選抜入試前期日程	1	細胞と物質	25	細胞の内部構造と顕微鏡の使用法に関する知識問題
	2	生命の期限と細胞の進化	25	真核細胞と原核細胞の共通性・相違に関する知識問題と増殖速度に関する計算問題
	3	植物の環境応答	25	孔辺細胞に関する基本的理解を問う問題
	4	生態系の物質生産と物質循環	25	食物網と物質生産に関する知識と、人間社会と生態系に関する基本的理解を問う問題
2月14日実施分 一般選抜入試中期日程	1	生体物質と細胞	25	細胞の内部構造に関する基本的理解と顕微鏡の原理について基礎理解を問う問題
	2	バイオテクノロジー	25	プラスミドを用いて遺伝子をクローニングすることについての知識と基本的理解を問う問題
	3	植物の発生	25	植物の受精とそれに関する知識と理解、種子の形成と環境応答について知識を問う問題
	4	生物の系統	25	系統分類に関する知識と進化系統に関する基本的理解を問う問題
2月15日実施分 一般選抜入試中期日程	1	タンパク質の構造と酵素	25	アミノ酸やタンパク質に関する知識問題と酵素活性についての考察問題
	2	動物の発生	25	カエル胚の発生に関する知識問題と実験結果をもとにした考察問題
	3	動物の刺激の受容と反応	25	動物の神経系に関する知識問題
	4	生態系の物質生産とエネルギーの流れ	25	植物の植生・遷移およびバイオームに関する知識問題と生産に関する計算問題

試験日・日程	問題番号	項目	配点	内容
3月10日実施分 一般選抜入試後期日程	1	生体物質と細胞	25	細胞を構成する膜に関する知識問題
	2	植物の発生	25	減数分裂に関する知識と基本的理解を問う問題と基本的な計算問題
	3	代謝とエネルギー	25	代謝とエネルギーに関する知識問題
	4	個体群と生物群集	25	個体群に関する知識問題と図を読み取る問題

### 3 出題の意図と対策

生物の幅広い分野から、まんべんなく出題されます。得意不得意の領域を作らないことが大切です。各項目の基本事項をよく理解していることが重要な対策となります。ただし、教科書で説明されている語句をそのまま記憶するのではなく、関連分野のつながりをきちんと理解しておくことも大事です。また、その事項の発見経緯や実験事例なども併せて覚えておくとういでしょう。龍

谷大学の生物の一つの特徴に、知識のみを問うのではなく、実験・観察の結果を読み取って計算させたり解釈させたりするような論理的思考を必要とする出題があげられます。基本的な計算問題をマスターしておくとともに、教科書の「課題探求」や「探求」などの項目も併せて学習し、「なぜそうなるか」をよく考え、論理的思考力を鍛錬しておきましょう。